

ローカル環境の設定の仕方

【Local をダウンロードする】

公式 HP : <https://localbyflywheel.com/>

ホームページにアクセスすると、下の画面が表示されるので、「FREE DOWNLOAD!」をクリックしてください。



②「FREE DOWNLOAD!」をクリックすると、下の画面が出てきます。ここでは、下の3つだけ入力すればOKです。

- ◇PCはMacかWindowsか
- ◇Work Email：登録メールアドレス
- ◇Number of websites: 作りたいローカルサイトの数（適当で大丈夫です。）

入力が完了したら、「GET IT NOW!」をクリックします。
ダウンロードが始まります。

Download Local by Flywheel!

It's free and always will be.

Please choose your platform:

Mac Windows

First Name

Last Name

Work Email

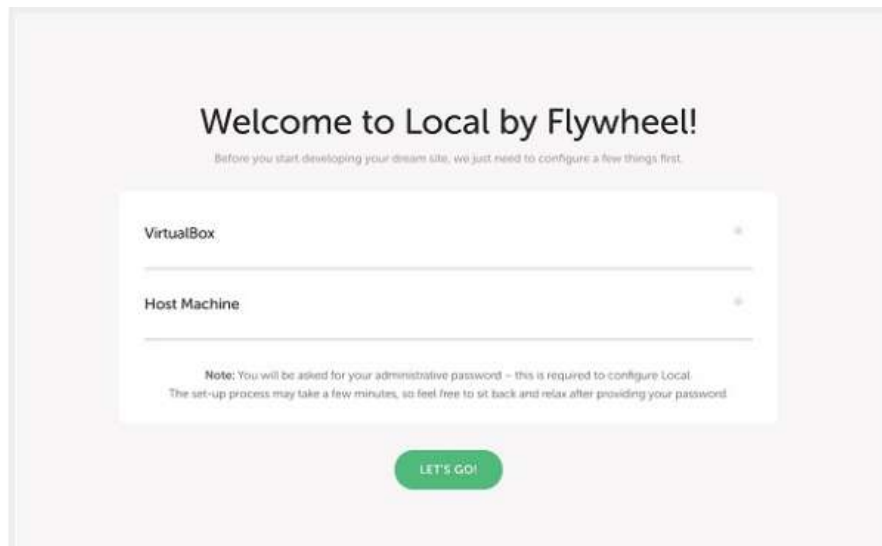
Company Name

Phone Number

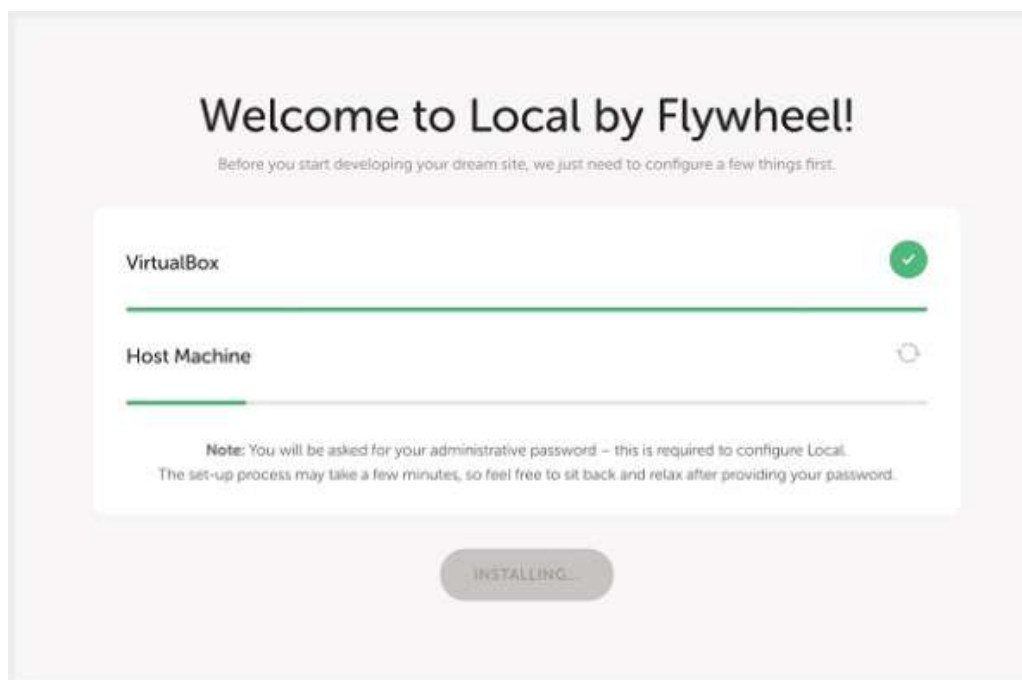
Number of websites

GET IT NOW!

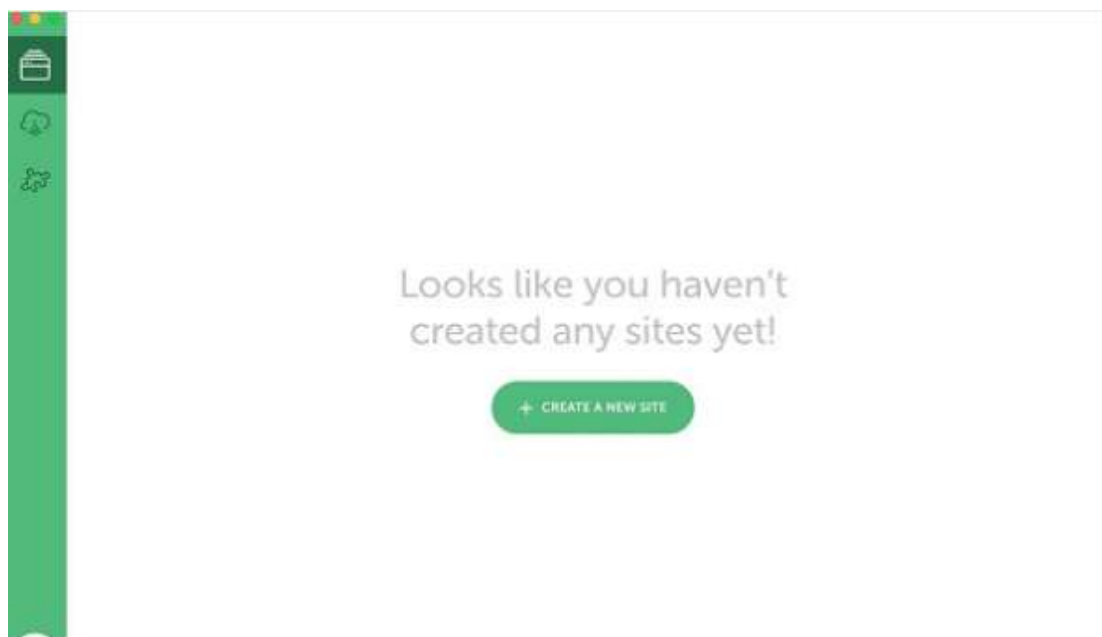
③ダウンロードが完了したら、圧縮されたフォルダを解凍して、インストールしてください。



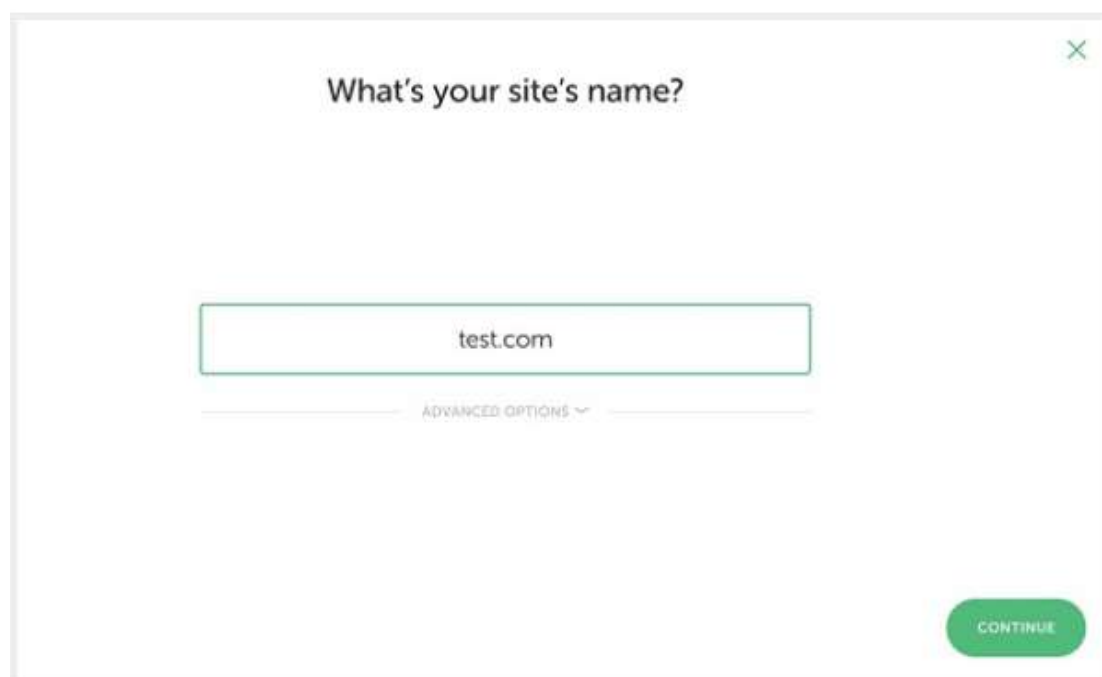
「LET'S GO!」ボタンをクリックすると、下のように環境の作成が始まります。



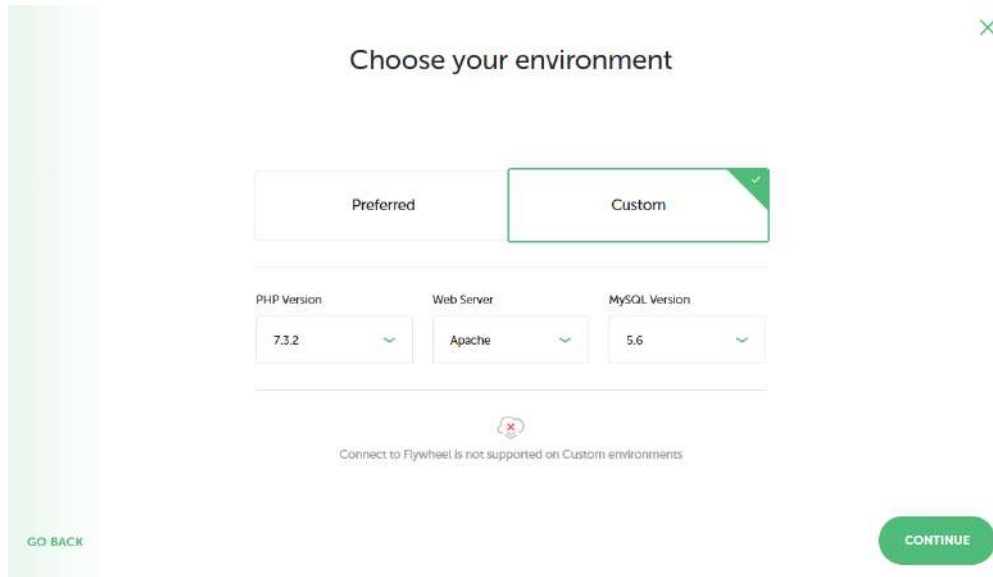
- ②WordPress の設定を行います。
まずは画像の「+ CREATE A NEW SITE」をクリック。



- ③すると、下のようにサイトの名前を入力するよう求められるので、好きな名前を入れてください。（例：HokushinSystemHP）その後 CONTINUE ボタンをクリック



④PHP、Web サーバー、MySQL のバージョン設定を行います。
Custom をクリックし、PHP を 7.3.2、Web Server を Apache、MySQL を 5.6 で設定して CONTINUE ボタンをクリック



Choose your environment

Preferred Custom

PHP Version: 7.3.2 Web Server: Apache MySQL Version: 5.6

Connect to Flywheel is not supported on Custom environments

GO BACK CONTINUE

⑤WordPress のユーザー作成を行います。
Username と Password を入力し ADDSITE ボタンをクリック
WordPressEmail は初期値のままで大丈夫です。



Setup WordPress

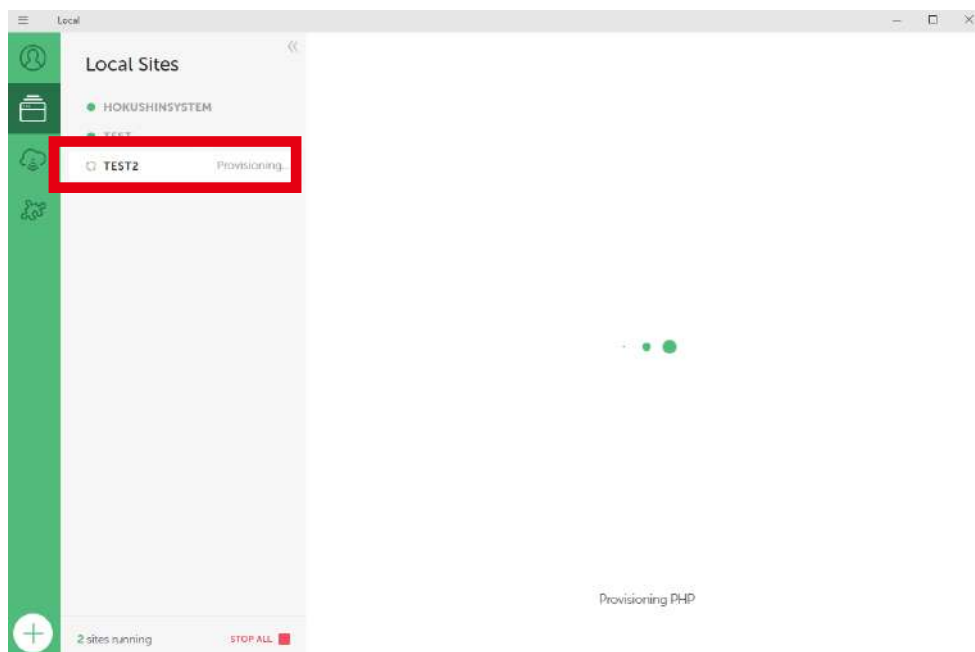
WordPress Username: WordPress Password: WordPress Email: dev-email@flywheel.io

ADVANCED OPTIONS

ADD SITE

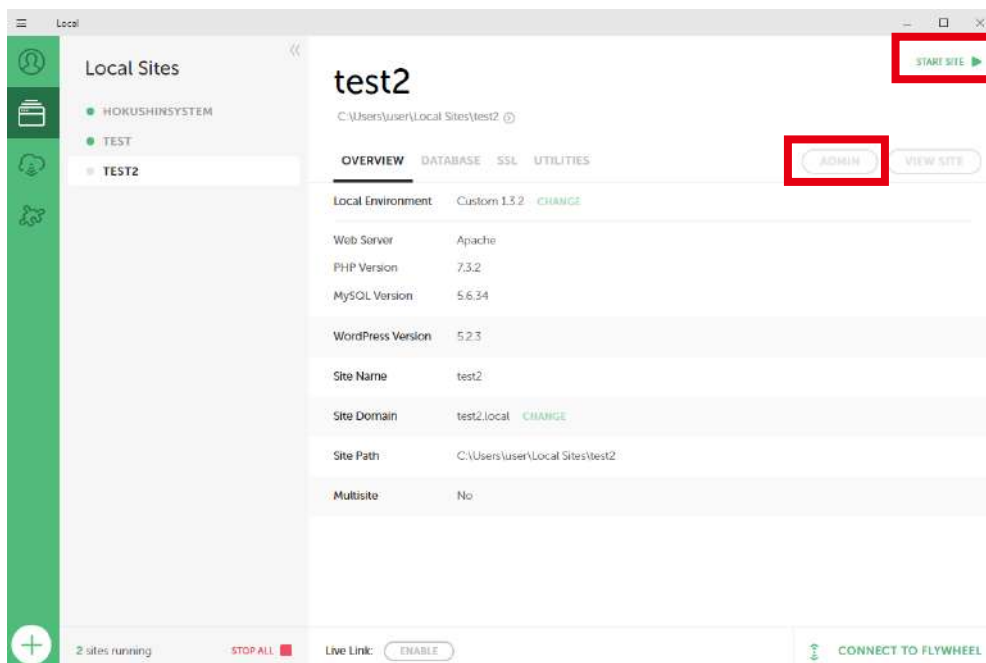
下の画面のように環境構築が始まります。

※ずっと Provisioning になっている場合は作り直しや、日を改めるとさくっと構築できることもあります。右クリックで構築中のもので削除（DELETE）することができます。



⑥構築が完了すると、下のような画面が表示されます。

右上の STARTSITE ボタンをクリックし、ADMIN ボタンで WordPress にログインします。ログイン時のユーザーとパスワードは⑤で作成したものになります。



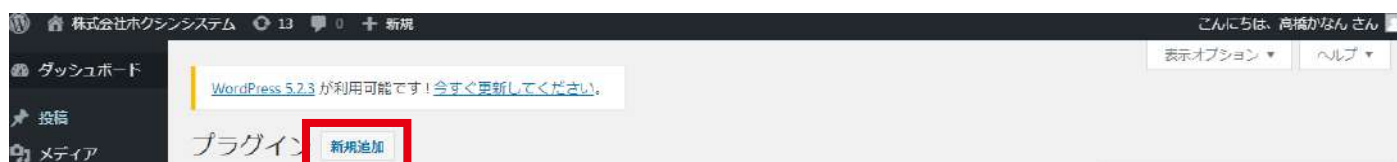
⑦先ほどの Local の画面にもどり、SitePath に書かれているフォルダの中の wp-content フォルダに Git からダウンロードしたフォルダを入れる。

例：C: ～ \Local Sites\【作成したローカル環境の名前】\app\public\

ここに wp-content 以下を上書きする。

wp-content の中はテンプレートしか入っていないので、次に WordPress 内のデータも更新する。

⑧WordPress の画面に戻り、プラグインタグをクリックする。
上の方にある新規追加ボタンをクリックし、All-in-One WP Migration と検索・インストール、有効化を行う。



2019.9.6 時点だとこんな見た目です



⑨有効化すると左側に All-in-One WP Migration のタブがでてくるので、そのタブの上をホバーし、インポートをクリック



⑩.wpress ファイル（テーマを除いてバックアップしたもの）をインポートさせます。

その後、再読み込みもしくはタブなどクリックすると、WordPress のログイン画面が表示されます。このときに使うユーザーとパスワードは別紙に記載されている「テストサイト WordPress 管理画面」のものを使用してください。



⑪インポート後ログアウトし、改めてログインする。
設定 - パーマリンク設定 - 変更を保存ボタンをクリック。

⑫これで完了です。
固定ページ・メディア・プラグインなどのデータが更新されているかチェックしてください。



Git の導入

- Git のインストール
- Git Bush 起動
- git config
- git config --global user.name (ユーザー名)
- git config --global user.email(メールアドレス)
- git config --global core.editor "brackets --wait"
- (リポジトリ対象のフォルダに移動後) git init
- GitHub にリポジトリ作成 (最初は GitHub へのアカウント登録が必要)
- SSH Key 生成
- ssh-keygen -t rsa -b 4096 -C " メールアドレス "
- エンター 3 回
- SSH key を GitHub に登録
- <https://github.com/settings/keys> に、id_rsa.pub を開いた内容を登録・
(New SSH key→key 登録、識別名称も入れる)
- sourcetree のインストール (最初は GitBucket へのアカウント登録が必要)
- sourcetree にリポジトリ登録←git init したフォルダをドラッグアンドドロップ
- sourcetree でリモートを設定
- <https://github.com/mutsuoKudo/> (リポジトリ名)← GitHub に作ったり
リポジトリ
- ユーザー名
- リポジトリ管理者にコラボレート依頼のメールがいくので許可してもらう

- sourcetree のツール→オプション→SSH クライアントを OpenSSH に変更
- インデックス (コミット用ステージ) に追加
- コミット (コメント付加)
- master をプル (※master/develop にはプッシュはしないこと)
- git flow → develop 作成 → プル
- git flow → feature1 (自由に名前をつける) 作成 → プッシュ
- 常用では feature1 を使う→ソースの修正→コミット→プッシュ→リポジトリ管理者に連絡